

福島県環境基本計画の見直しについて

平成24年9月11日

生活環境総務課

1 福島県環境基本計画

- 福島県総合計画の環境保全に関する部門別計画
- 環境基本条例に基づく、本県の環境保全に関する基本的な計画

2 現行計画の点検結果

- 点検結果の反映

3 見直しポイント

(1) 震災等への対応

- 除染、廃棄物処理などの環境回復に関する新たな施策の追加
- 猪苗代湖の保全対策、野生鳥獣の適正な保護などの現行施策の強化

(2) わかりやすく・コンパクトに

- 現状・課題、施策をワンセット表示
- 大方針・理念に特化して記載し、ボリューム圧縮

(3) 県総合計画との整合性

H25～32年度の8か年計画へ

福島県環境基本計画の概要

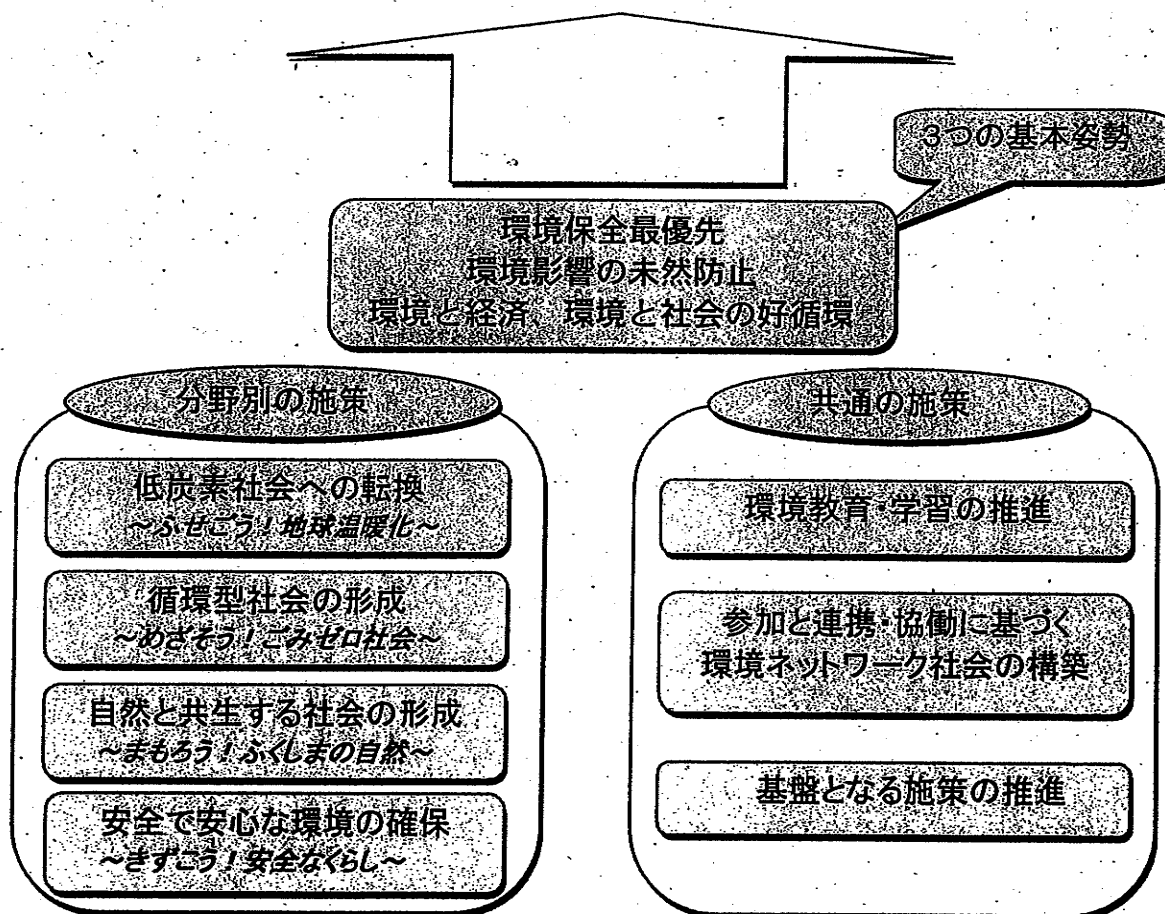
第1章 はじめに 計画策定の趣旨、計画の性格、計画の期間

計画の期間 新しい総合計画と将来展望を共有しながら、平成22年度(2010年度)を初年度とし、平成26年度(2014年度)を目標年度とする5ヶ年計画とします。

第2章 計画の基本目標と基本姿勢

基本目標の達成に向け、「環境保全最優先」「環境影響の未然防止」「環境と経済、環境と社会の好循環」という3つの基本姿勢の考え方をもち、「低炭素社会への転換」「循環型社会の形成」「自然と共生する社会の形成」「安全で安心な環境の確保」という分野別の施策と、「環境教育・学習の推進」「参加と連携・協働に基づく環境ネットワーク社会の構築」「基盤となる施策の推進」という共通の施策を推進していきます。

基本目標：自然も人もいきいき、未来につなぐ美しい“ふくしま”



第3章 現状と課題

第4章 施策の体系と展開

第5章 各主体の役割

第6章 計画の推進と進行管理

本県の特徴、環境の現状と課題

施策体系、施策の展開

県の役割と市町村、事業者、県民に期待される役割

計画の推進と普及、進行管理

施策体系図

見直し(案)

現行

I 環境回復の推進

1	放射性物質による環境汚染からの回復 (モニタリング、除染、廃棄物処理)	(新規)
2	原子力発電所及び周辺地域の安全確保 (事故収束に向けての安全対策等)	

II 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

1	低炭素社会への転換
2	循環型社会の形成
3	自然共生社会の形成
4	良好な生活環境の確保
5	環境に配慮する意識の醸成

1	低炭素社会への転換
2	循環型社会の形成
3	自然と共生する社会の形成
4	安全で安心な環境の確保
5	環境教育・学習の推進
6	参加と連携・協働に基づく環境ネットワーク社会の構築
7	基盤となる施策の推進

自然も人も生き生き、未来につなぐ美しい“ふくしま”

(見直しポイント)

- 1 震災等への対応 (緊急施策の追加、現行施策のリニューアル)
- 2 コンパクト、わかりやすく (現状、課題、施策をワンセット表示)
- 3 総合計画との整合 (H25～H32年度 8か年計画)

新しい環境基本計画イメージ図

施策の相互連携



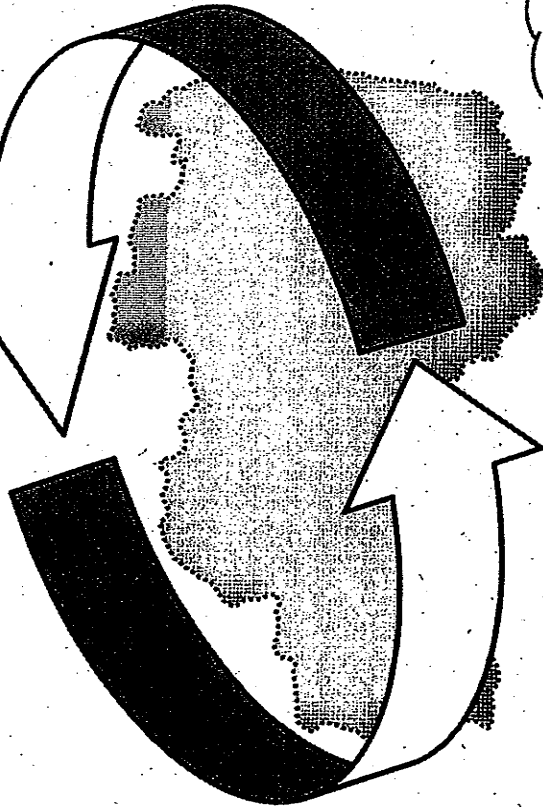
II 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

(環境創造センター)
(仮称)

I 環境回復の推進

(現行施策のブラッシュアップ)

- 1 低炭素社会への転換
- 2 循環型社会の形成
- 3 自然共生社会の形成
- 4 良好な生活環境の確保
- 5 環境に配慮する意識の醸成



(緊急施策の追加等)

- 1 放射性物質による環境汚染からの回復(モニタリング、除染、廃棄物処理)
- 2 原子力発電所及び周辺地域の安全確保(事故収束に向けての安全対策等)

猪苗代湖の保全対策

野生鳥獣の適正な保護・管理

更に推進が必要

除染

モニタリング

原子力発電所の安全確保

廃棄物処理

東日本大震災

福島県環境基本計画の改定スケジュール（案）

平成24年9月11日 環境審議会全体会（諮問、現行計画の点検等）

10月中旬 環境審議会第一部会（素案について検討）

11月上旬 環境審議会第一部会（中間整理（案）について検討）

11月上旬 ～ 12月上旬 パブリックコメント

平成25年 1月上旬 環境審議会全体会（中間整理（案）について検討）

2月上旬 環境審議会全体会（答申（案）について検討）

答申

3月下旬 計画の改定